

FUJIEDA ROTARY CLUB

# 藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040  
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail [club1972@fujieda-rotary.org](mailto:club1972@fujieda-rotary.org)



【ランキュラス】

写真提供：事務局

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳

## 第1899回

<ソング> それでこそロータリー  
<ソングリーダー> 萩田 俊一君



【2010-2011年度 RIテーマ】  
地域を育み  
大陸をつなぐ  
レイ・クリンギンズミス

### 会長報告 石垣 善康君

4月より、藤枝ロータリークラブは米山記念奨学生の世話クラブに。そしてカウンセラーに私、石垣が一年間勤めさせていただきます。

本日は、米山記念奨学生、ダス、プロタープ君に例会出席をしていただいております。

米山記念奨学事業は1952年昭和27年東京ロータリークラブによって設立されました。

奨学事業をつうじて平和日本を理解してもらう、そして平和を求め日本との架け橋になる人を支援する事をその目的といたしました。

以来、15,000人もの奨学生を世界に送り出してきました。

韓国の駐日韓国大使 日本文学の翻訳者 台湾のセブンイレブン、スターバックスの社長など多くの学友が世界で活躍いたしております。

正式には、財団法人ロータリー米山記念奨学会よりの委嘱であります。

2620地区では、合計16名の留学生を受け入れました。

全員がアジアからで、半数が中国です。あとベトナム、韓国、モンゴル、そしてバングラディッシュからです。

奨学生には、毎月100,000円が奨学会より助成、藤枝ロータリークラブが窓口として、毎月例会にてお渡しいたします。

ちなみに私たちは、一人年間12,000円を米山記念奨学会に寄付をいたしております。

世話クラブとして、リラックスした例会、クラブ全体での交流、を心がけロータリー精神を学んで

頂き、また日本人と交流をする中で、奨学生としてふさわしい学生に育て頂く、そして日本人、日本文化にふれ、将来の国際親善のリーダーになってもらう、そのために会員の皆様をお願いしたいのは、ダス君に積極的に声をかけて頂き、話をする、励ましていただきたいと思います。  
4月より一年間、宜しく願いいたします。

### 幹事報告 酒向 謙次君

- ガバナー事務所より、2010-2011年度第2620地区引継ぎ会(6/18)のご案内が届いております。
- 第2770地区より「TBS ラジオ CM 放送について」のご案内が届いております。
- ロータリー財団委員会より、GSEメンバーの活動状況が届いております。
- ガバナー事務所より、東日本大地震義援金の報告が届いております。  
4月18日現在、合計30,618,225円のご協力を頂きました。

### 出席報告 竹田 勲君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
30 / 40 75.00%	37 / 41 90.24%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 落合君 酒井君 鈴木邦君 鈴木廣君  
平君 畑君 江崎晴君 鈴木舜君  
鈴木寿君 仲田晃君

## スマイルBOX

竹田 勲君

- 記憶がなくなる位前に結婚しましたが、素朴な結婚式でした。毎回花束が届くと嫁は大変喜んでいきます。

結婚祝ありがとうございました。特に仲が悪い訳ではありませんが、すっかり忘れていました。

青島 彰君

- 51年目の結婚記念日に、きれいなバラの花で祝っていただき有難う。 杉浦 良一君
- 3年後の金婚式、2人共元気で迎えたいと願っています。 松葉 義之君
- 結婚のお祝いありがとうございます。45年になりました。 大長 昭子君
- 愛する妻の誕生お祝いを頂き、大変感謝しております。 酒向 謙次君
- 用紙をもらい妻の誕生日を思い出しました。ありがとうございます。 松葉 隆夫君
- 創立記念日例会のカラオケ大会のチャンピオンになりました。 山田 昭雄君
- 新茶が始まりました。1ヶ月半がんばります。 松葉 隆夫君

スマイル累計額 549,500円

## ◎ ガバナー補佐期末訪問

「一年間のお礼の

ご挨拶」

ガバナー補佐

青島 克郎君

ガバナー補佐

事務局長

後藤 功君



## 米山奨学生 会員との顔合わせ紹介

米山奨学生

ダス・プロターブ君



みなさま、こんにちは。私はプロターブ・ダスと申します。4年半前、バングラデシュから参りました。

今、静岡産業大学の情報学部の4年生です。“医療や福祉事業に、情報機器を使ってコストを減らす事と共に、よりスムーズなサービスを提供する事について研究しております。

今年の4月より米山記念奨学生に選んで頂き、心より御礼申し上げます。奨学生に選ばれた事は、荣誉ある事ですし、私の今までの留學生活が認められたといった思いです。

皆様に心より御礼申し上げ、一年間よろしく御願ひ申し上げます。

## 地区協議会報告

(2011.4.17 沼津文化センター)

2011~2012会長エレクト 青島 彰君

4月17日、次年度地区協議会に会員12名事務局員奥脇さんと参加しました。

東電の計画停電の影響があるとのことで午前の開始の予定が午後の開催と変更になりました。又、南クラブと合同でバスを仕立てての参加でした。本会議では積惟貞次期ガバナーよりRI会長テーマ

「家族」: 全て世の基本は家族である。まず自分の家族を大切に、その輪を広げよう。

「継続」: 我々が今までやってきて良かったことは継続しよう。

「変化」: 社会の変化に応じて我々も良い方向に変化しよう。

の紹介があり、サンディエゴでの国際協議会の様子などを話されました。

PETSの2日前東北大震災が起こり、当初立案した中山ガバナーの「不易流行」の継承を地区目標としていましたが急遽「災害復興支援」を第1目標とし各クラブの協力を訴えました。

会長・幹事・会員増強の分科会は大ホールでそのまま開催され、ロータリーコーディネーターの坂本俊雄氏がクラブ数、会員の減少に歯止めがきかない現状を具体的な数字を挙げ、今のままのロータリークラブでは将来的に大変な状態になると会員増強について最大限の努力が必要と話されました。当クラブでは最近では着実に会員増強がされてきましたが創立40周年を期に大きな目標のもと

会員全員が協力してこれに当たらなければなりません。分科会が終わり全体会議において地区会員増強委員長は会員増強が達成出来ないときはガバナーをはじめとした役員を丸める覚悟であると決意表明しました。

本年度地区役員の決意は十分に伝わりましたがパストガバナーの発言を聴いていると災害支援等の考え方には少し距離を感じたのは私だけでしょうか。

最近10年間のクラブ数、会員数の動向

年度 (1月度)	クラブ数 (国内)	会員数 (国内)	会員 増減率
2000~ 2001	2,317	115,814	
2005~ 2006	2,333	101,729	- 12.17%
2010~ 2011	2,308	90,648	- 21.73%

●次年度広報・IT委員会

代理出席者 江崎 晴城君

□主題

「地区のホームページを充実させたい」

- ① 各クラブとの連携を強化(情報交流)していきたい
- ② 般の方へロータリー活動を知ってもらいたい

□地区からの依頼

- ① 地区ホームページと各クラブのリンク(バナー)を各クラブの情報受信の各役職者名、アドレスを地区HPに登録してほしい
- ② クラブの情報を地区にアップを(動画も歓迎) 例会変更、活動、マスコミ掲載、卓話スケジュールなど
- ③ 地区ホームページ更新のお知らせをメール受信してほしい
- ④ 各クラブの出席報告にデータ入力(ガバナー月信に自動的に掲載される)
- ⑤ 地区ホームページ バナースポンサーを募集 5000円/年

□流れ

各クラブ→ガバナー補佐事務局→地区

※ガバナー補佐を通す

□配信の方法

後日地区より各クラブ担当者に連絡されます

□その他

2011年5月、2012年12月に地区ホームページへの第5分区活動報告掲載予定

●次年度会員増強委員会委員長  
松葉 義之君



『会員増強 いかに取り組むか』

≪ガバナー補佐・会長・幹事・事務局員部会と合同で分科会が行われた≫

① 中山ガバナー挨拶

東日本大震災の影響は長期化が予想される。継続支援を行ってゆく

② 積ガバナーエレクト挨拶

部会を合同とした意味を語る。現在のロータリークラブの会員維持増強は大変大きな問題であり、会長、幹事、増強委員長共にこの問題に取り組む事を強く意識して頂くため。坂本コーディネーターの話と一緒に聞いて次の対応に取り組んでほしい。

③ 飯田地区研修リーダー挨拶

ガバナーエレクト、ガバナーの2年間に2クラブがR Iから脱退した。また少数化により再度会長、幹事に重複就任の例も見られる。退会者も高齢者のみでなく入会3年以内の若い会員にも見られる。増強にあたってはロータリーの理念をしっかりと伝え、寄付等は義務ではなくあくまで自由意志である事もしっかりと伝える事が肝要である。

④ 講話 コーディネーター

坂本俊雄氏(八王子RC・パストガバナー)ロータリークラブの会員減少が大きな問題である。日本では最高時より-30.2%、アメリカで-14.3%、世界全体では-1.2%となっている。



- 世界文化遺産の意義の説明と事業開催の告知・事業概要説明書の作成・事業概要説明書の配布・事業への参加の募集

- マスコミへの協力要請・事業概要の説明・事業協力への要請

8月6日(土)・7日(日)

- 世界文化遺産登録PRサポート事業の開催  
富士山の頂上へ登山し、世界文化遺産登録及びポリオ撲滅を訴える

富士山の日・推進活動

2012年2月23日

- 「富士山の日」記念チャリティーコンサートを開催。富士山文化遺産登録推進事業へ寄付する。各クラブの社会奉仕活動の情報収集と発信
- 周年クラブの記念事業の概要収集及び発信

次年度新世代委員会 担当リーダー

大塚 高弘君

新世代委員会 中村委員長(浜松中RC)

次の時代のリーダーを見つける委員会であり、インターアクトとローターアクトより成り立っています。

今、ローターアクトについては会員数が減少し、会員の拡大増強が最大の課題です。また、インターアクトからローターアクトの流れと、インターアクトとローターアクトの交流をして未来のロータリアンを発掘して行きたい。

インターアクト小委員会

大村小委員長(沼津RC)

2011～2012年版のインターアクト年鑑を600部作成し、地区全クラブ、IAC学校・生徒に配布を行います。

現在静岡・山梨で21の高校にインターアクトクラブがあり、年次大会を2011年7月30日、31日にホスト校・日大三島高校(提唱クラブ・三島RC)で予定しております。

指導者講習会を12月11日にホスト校・県立沼津商業高校(提唱クラブ・沼津RC)で行います。

海外研修は3年に一度の実施とし、高校生が在学中に一度は研修が出来る様、積立をし

す。今年は2年目となります。

RI2870地区との交流をします。

ローターアクト小委員会

谷本小委員長(静岡RC)

ローターアクトは静岡、山梨で5つしかありません。会員数の減少が課題で、ローターアクト会員増強の為の活動をします。

RCメンバーに理解してもらう為に2011年9月23日のアクトの日に参加、見て欲しい。

報告・依頼・質疑事項

FM静岡より種まきキャンペーンに参加協力してほしい。時期が今年の6月までなので、今年度のガバナー名で各RCに案内を出しますが、内容はゴーヤの種を、配布や種を蒔いて水をやったりして管理をしてもらい緑のカーテンを作って節電に協力をお願いしたい。また、FM静岡の取材を受けて、放送に出てもらいたい。

島田RCよりローターアクトは5人で、島田インターアクトは30周年です。

ハーモニーと浜松は合同で例会を行い、ローターアクトも参加して行っています。

静岡RCは養護学校にRCとローターアクトで夏祭りを行った。

ローターアクトの定年を上げたらどうか?

(定年の引き上げ案は、世界の中で日本だけなので難しいと思われる)

次年度ロータリー財団委員会委員長

鈴木 廣利君

財団部会は14:15 GSE小委員会委員池戸智之君(浜松)の司会で始まり、「未来の夢計画」「GSE事業」「地区補助金の募集とマッチング・グラウンド」等についての説明があった。特にマッチング・グラウンドについては当藤枝RCは申請すらしたことがないので、大変興味がありました。これについてはHPにも載せてあるとの事で「地区補助金」の項で一度観てみたらどうかと思います。

「財団学友会」の活動についての説明のあと、

15:00頃から財団の活動を支える寄付 US\$100/人年、ポリオ撲滅資金寄付US\$23

